

glass works      tombodama  
topnoch × bubbles

glass  
technologist  
last  
exhibition

2013.11.30 [sat.] - 12.8 [sun.]

supported by NN Co.,Ltd.



# 展示に寄せて

2013年明けにお店を閉店するというお話を頂いたときに最後の展示する?と仰っていただきました。これまで展示ブースが出来てから過去4回、しかもこけら落としも私を指名していただきました。あの時は確か展示まで2週間切っていたと記憶しています。普段なら断る日程なのですが、その展示ブースはとても魅力的にみえ「こけら落とし」という甘美な響きもまた自分を奮い立たせていただく燃料でした。

名だたるガラス作家さんを抱えながら何故か自分を高く評価して頂いておりました。長年本当にお世話になったのでなにかしら普段しない事をしないといけないと思いました。

ばぶるさんでのガラス作家最後の展示、製作現場を移転しての仕事、お世話になった感謝の意はこれまでにないほどの燃料として自分自身に期待しております。

普段お客さんからどうやって作るのか、ガラスをかじった事のある方からは“教室はやってないのか”“作業風景はみれないのか”とよく言われます。酸素バーナーでの理化学硝子を使って制作する現場を展示と共にみせたいと思います。

このような機会は自分にとってもあまりない経験になると思います。蜻蛉玉ばぶるすというお店があったと記憶していただくべく、そしてガラスというものの面白さをご覧頂くべく是非ともよろしくお願ひ致します。

glass works topnoch / 田中 福男



# 日時

日程: 2013年11月30日(土) ~ 12月8日(日)

時間: 13時 ~ 21時

※会期中は無休

※6日は16:00迄しか在廊しません

# 会場

## 蜻蛉玉ばぶるす

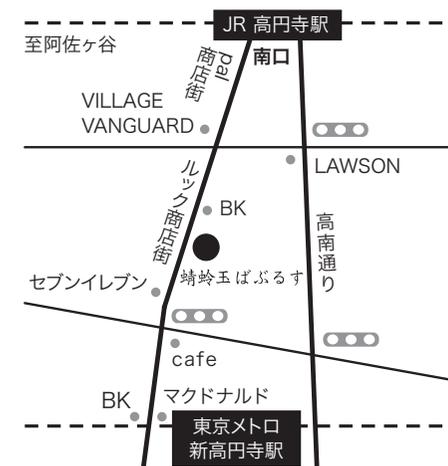
〒166-0003

東京都杉並区高円寺南2-22-6 竹田ビル1F

tel / fax: 03 - 3313 - 0277

<http://www.ranman.net>

JR高円寺南口より徒歩8分  
東京メトロ丸の内線新高円寺駅2番出口より徒歩6分





glass works / ガラス作家

# topnoch / トップノッチ



"lilac"



"overlapglass8層"



"sumire"



"saracen"



"貫井徳郎著・新月譚表紙"



田中福男(たなかふくお)

1979年12月大阪生まれ・岐阜県出身

今は無きGlass House研究科卒。3期生。1学年時から「topnoch」として活動。

卒業と同時に東京都日野市に個人工房「glass works topnoch」設立。

工芸の立場から身につけるガラスを主に制作。ガラスの大きさは35mm程度。

ペンダントヘッド、帯留め、ボタン、主に身に纏うアクセサリーを製作。

技法はバーナーワーク、素材は理化学硝子。

2007年から年に数回思い思いの場所にて展示を開く。

多摩美術大学臨時職員を経て理化学工場で日本のガラス職人の技術を学び独自の技術と理路、

“1mmからの制作” “素溶” (ガラスを素直に溶かすこと) を頭に置き、美しい模様、色を追求。

その他理化学硝子制作工場のサカイグラステックと共同で“incense cylinder”を制作発表(2008)、

ZOZOTOWN企画、宝石店、専門学校講師等様々な場所で活動中。

ウェブサイト:<http://www.topnoch-works.net>

## 主な展示

2010.06 特別展示『田中 福男展』長野/善光寺宿坊内・ギャラリー蓮

2010.10 個展『秋 鎌倉 ガラス展』鎌倉/FLAT

2011.05 2人展『海辺のrain forest』七里ヶ浜/アトリエ空

2011.12 個展『装飾・小さなガラス・素溶』世田谷/seta-shop gallery

2012.04 表紙 文藝春秋発行『新月譚』貫井徳郎著 表紙

2012.05 2人展『田中福男・渡会審二(写真)共展』鎌倉/アトリエ水平線

2012.05 グループ展『太陽がいっぱい』世田谷/seta-shop gallery

2012.08 グループ展『バーナーワークの世界展』銀座/ギャラリー田中

2013.02 特別展示『TOPNOCH exhibition』高円寺/蜻蛉玉ばぶるす

2013.04 特別展示『青・鎌倉・ガラス』鎌倉/アトリエ水平線

2013.06 2人展『Clear Color×KAOKAO PANDA』代々木/OCO gallery

2013.10 個展『装いのガラス』目黒/glass hopper gallery



# 蜻蛉玉ばぶるす



2000年を境に輸入会社の輸入先の現地調査など骨子を整え、2002年蜻蛉玉ばぶるすの前身となる「有限会社 高円寺企画」設立。

2004年輸入した様々なビーズに魅了され、東京・高円寺に「とんぼ玉専門店Bubbles」をオープンし、国内外で活躍されるガラス作家作品の取り扱いを始める。

時を同じくして、星野自身もバーナーを操り「atelier風雅」として制作を開始。

2007年店舗移転。念願だったガラス工房を併設した「蜻蛉玉ばぶるす」をオープン。

自身もガラスを制作する立場から確かな目で様々な客人と作家を繋ぐ役割を果たす。

和装、アート、アクセサリなどの専門誌に留まらず、ANA「翼の王国」など数多くの雑誌に掲載され、NHK「美の壺」をはじめ、民放全局、BS局から取材を受ける。

閉店の知らせ前は作品を置きたいというガラス作家が後を絶たず、有名無名関係無しにクオリティの高い作品だけを取り扱い、ガラス業界からは一目置かれる存在となる。

2010年2月に特別展示ブースを設置してから展示会多数開催。

国内外の名立たるガラス作家が展示を開く。

2013年2月に閉店を発表。

数多くの固定ファンとガラス作家に惜しまれながら2013.12.25、閉店する事が決定している。

蜻蛉玉ばぶるすが高円寺にお店を構えて10年、一握りのガラス玉を通して作家さんとお客様を繋ぐ大きな役割を果たして参りましたが、2013年12月25日をもって閉店致します。

数え切れないほど沢山の人たちとの交流、季節ごとに彩りを変えてお店の飾った素晴らしい作品の数々、そのどれもが蜻蛉玉ばぶるすでした。そして、変化を続けてきたお店の内装で、大きな転機となったのが展示ブースの設置でした。ガラスの見栄えを意識した照明を配して、国内外の優れた多くの作家を紹介させて頂きましたが、そのこけら落としを引き受けてくれたのがtopnochさんです。

作品の見方に厳しいお客様の多い中で、技術の確かさ、色彩や発想の豊かさに高い評価を得ているばかりでなく、作品に付加されるイメージや物語にいつもわくわくさせてくれるtopnochさん。ガラス作家として最後の展示を締めて頂く事をお願いしたのは2013年の年明け間もない頃でした。

「最後なので面白い事やりたい」というtopnochさんの提案にお互い意見を出し合い、今回の展示では、作品の展示だけに留まらず、topnochさんの仕事をそのまま蜻蛉玉ばぶるすに移設、「公開仕事」と銘打って滅多に公開しない作業風景を連日ご覧頂ける、作家展示の最後を締めるにふさわしい展示イベントとなっておりますので、是非ともお楽しみください。

ご愛顧賜りました10年という長き年月に感謝の言葉は尽きることが御座いませませんが、支えて頂いた多くのお客様に、関わって頂いたtopnochさんをはじめとする

ガラス作家さんへ感謝を込めまして。

蜻蛉玉ばぶるす 星野雅彦

2013.11.08



# お問合せ先

展示全般に関する質問・お問い合わせ先は下記までお願いします。

## glass works topnoch

田中 福男

〒191-0012 東京都日野市日野2851

tel / fax : 042.582.0978

email : mail@topnoch-works.net

URL : <http://www.topnoch-works.net>

「蜻蛉玉ばぶるす」に関する質問・お問合せ先は下記までお願いします。

## 蜻蛉玉ばぶるす

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南2-22-6 竹田ビル1F

tel / fax : 03 - 3313 - 0277

email : info@ranman.net

URL : <http://www.ranman.net>

Supported by NN Co., Ltd.

